



校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

新聞作成講習会 実際に取材の仕方を学ぶ



魁新報の〇〇〇さん



新聞の読み方も様になって



6名の代表が直接取材を

7月11日(火)の4校時、秋田魁新報社から秋田県NIE推進協議会事務局長の〇〇〇さんを講師にお迎えして、「新聞作成講習会」を行いました。この日は生憎の真夏日で、会場のランチルームの温度計も30度を超えていましたが、子どもたちは暑さにも負けず熱心に取り組んでいました。

また、昨年までは取材した内容をどう新聞にまとめるかがテーマの講習会でしたが、今年は実際に「インタビュー」をして、取材時に心がけることなど「取材の仕方」を中心に学びました。これは、夏季休業中に行われる職場体験活動「なりたい自分を目指す14歳の挑戦」や「学級新聞コンクール」など、直接地域の方々にお話を伺う機会があるので、事前に学ぶ機会としました。

〇〇さんからは「話しの聞き方」としてまず「失礼のない聞き方」を心がけることが大切で、「自分を名乗りそれから始める」「いきなり質問しないで、まず相手の事も必ず聞く」「相手と目線を合わせる」「相手の体に正面に向く」「うなづく」「相手の言葉を繰り返す」、もし聞き逃したようだったら「その場で確認」したり、連絡先を聞いて「後日確認する」など、実際に場面を想定したお話がありました。

さらに、インタビューの時には「小さなメモ用紙を準備する」だけでなく、時間を作って貰ったことへの「感謝の言葉」も忘れないよう、アドバイスも頂きました。

各学年2名の代表が実際に〇〇さんにインタビューをしましたが、〇〇さん自身に係わる質問もあり、「権力の暴走をおさえ、立場の弱い人の声を伝えたくて新聞記者になったこと」「新聞づくりを通して社会をよくしていきたい」という言葉から、取材の仕方だけでなく〇〇さん自身の生き方から沢山のことを学ぶことができました。

実際に新聞記者の方から、取材のプロとして心がけていることを聞く機会は大変貴重な体験であり、「キャリア教育」という意味でも、意味のある時間を過ごすことができました。

由利本荘市青少年ハンガリー 友好交流訪問団結団式



〇〇さんが抱負を

7月11日(火)の午後、「由利本荘市青少年ハンガリー友好交流訪問団」の「結団式」が市役所正庁で行われ、〇〇市長さんや〇〇市議会議長さんもお来賓として参加されました。今回この訪問団には由利中からは2年生の〇〇〇〇さんが参加します。

この事業は平成10年度から行われており、ハンガリーのパーツ市と由利本荘市が1年ごとに生徒を派遣し合うもので、本市からの派遣は今回が9回目となります。〇〇〇市長さんからは「思いやりの気持ちをもつことが友好の絆となり、1週間を感動と発見の旅にしてほしい。」、〇〇議長さんからは「ホームステイはともかく積極的に交流してほしい。」、〇

〇〇教育長さんからは「言語や生活、食事など大きな違いがあるけれど、受け入れる姿勢をもつことで『共生社会』の在り方について学ぶよい機会としてほしい。」と激励の言葉を頂きました。

また、団員自己紹介では参加する9名の生徒が一人一人が抱負を語り、〇〇さんからは「初めての海外旅行で緊張感は計り知れないものがあるけれど、参加するみんなとコミュニケーションを取り合い、楽しんできたい。」と決意がのべられました。

ハンガリーへの出発は7月31日の朝で、8月8日の夕方には本市に帰ってきます。事故無く、健康に、意義ある旅にしてほしいものです。〇〇さん、大いに頑張ってきて下さい。

吹奏楽中央地区大会の写真 を頂きました！



先日行われた吹奏楽コンクール中央地区大会では、県民会館前で東由利中と合同で写真を撮りましたが、保護者の方より由利中単独での写真を頂きましたのでご紹介します。

金賞に負けない、とてもよいゴールドの笑顔で映っていますね。